



2026

Vol.1

## うりやま

だ

り

よ



### ごあいさつ

令和8年度が始まりました。新入職者を迎え、様々な部署で業務体制が変わりました。診療面では腎臓内科、内分泌代謝科、小児集中治療部の医師が増員となり、体制が充実しました。また、5月には電子カルテの更新が行われ、病院全体としての機能の強化が期待されます。

人口動態統計によると国内の出生数は減少が続いています。群馬県の令和7年の出生数は8950人で過去最少となり、初めて9000人を下回りました。このように小児が減少する状況のなか、昨年度の当院の外来患者数、入院患者数は、共に前年度より増加しました。登録医の先生方をはじめ、多くの医院・病院から患者さんをご紹介いただいたことで患者数が増加したものと考えております。


今後も県内唯一の小児専門病院として、県民の皆様に専門性の高い医療を提供できるように引き続き努めてまいります。

当院の移転・再整備に関しましては、マスタープランに基づき、新病院の基本設計を行っている状況です。今年度には基本設計を完了し、実施設計の段階に進む予定になっています。新病院が、これまで以上に群馬県の小児医療・周産期医療に貢献できるように着実に準備を進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



院長 浜島 昭人





## 幹部職員 ごあいさつ



副院長 小林 靖子

この度、副院長を拝命し、群馬大学より赴任してまいりました小林靖子と申します。

群馬県の未来ある子どもたち一人一人の、健やかな成長を支える主要な医療機関として、小児医療のますますの充実と発展を目指して努めてまいります。

前橋の出身で、大学卒業後直ちに群馬大学小児科学教室に入会しました。約30年前には当センターで研修させていただきましたので、初心にかえる思いです。

これまで臨床・研究・教育の場において、診療・研究は小児腎臓病を中心に、社会的には児童虐待防止やチャイルドデスレビューなどの活動に、教育は、医学生、大学院生、初期研修医、専攻医、専門医教育や、学会による地域の専門医生涯教育活動に、携わってまいりました。これらの活動を通じて、子どもたちの健康は医療のみならず、家庭や地域社会との連携の中で守られるものであることを実感してまいりました。

近年、小児医療は急速に複雑化し、日本では少子化の進行が社会的懸念となり、虐待・自殺・子どもの貧困など社会的逆境の増大、慢性疾患や医療的ケア児の増加など、子どもを取り巻く環境は大きく変化しております。成育医療の一環である小児医療には、治療のみならず予防や成長発達の支援において、社会的背景を配慮した包括的な関わりが求められています。当センターが担う高度専門医療の役割を大切にしつつ、地域の医療機関との連携を深め、子どもたちとご家族に寄り添いながら、切れ目のない小児医療体制の構築に貢献してまいりたいと考えております。

微力ではございますが、群馬県の小児医療の発展に貢献できるよう精進してまいりますので、今後ともあたたかいご指導ご支援のほど、何卒よろしく願い申し上げます。



事務局長

岩上 尚樹

本年4月の人事異動により、事務局長として赴任いたしました。

新病院の移転再整備につきましては、現在、基本設計の検討が進み、本年10月からは実施設計に着手する予定です。地域における医療提供体制の一層の充実に向け、着実に準備を進めているところで。

一方で、物価高騰の影響などにより、病院経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続く中、経営改善に取り組んできた結果、赤字幅は大きく縮小しており、持続可能な運営に向けて一定の成果が見え始めております。

今後も、新病院整備と並行して経営基盤の強化に努め、地域の皆様に信頼される医療の提供に一層取り組んでまいります。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。



新病院建設室長

和田 裕幸

本年4月に新病院建設室長を拝命いたしました和田と申します。

小児医療センター再整備マスタープランが令和7年3月に策定され、現在、新病院の建設に向けて基本設計を進めています。この4月からはセンター内に新病院建設室が設置され7名の職員が勤務をしています。

医療機関をはじめ関係機関の皆様のご協力をいただき、円滑に事業を進めてまいりたいと考えておりますのでどうぞよろしく願いいたします。



## 新任職員 ごあいさつ



心臓外科 部長

山本 裕介

医学部を卒業後、いくつかの大学病院や、こども病院でほぼ一貫して先天性心疾患の外科治療に従事してきました。

手術を受けたお子さんたちが元気に退院されるだけでなく、いずれは手術を受けたことさえ忘れてもらえるように丁寧に正確な手術を心がけたいと考えています。



小児集中治療部 部長

中林 洋介

4月より小児集中治療部に赴任いたしました。私は群馬大学小児科の研修医からスタートし、PICUを学びたくて医師5年目から成育医療センター手術・集中治療部のレジデントになり、成育、都立で勤務させていただきました。縁あって厚労省への出向を経た後、最近10年間は前橋赤十字病院をはじめ、複数の救命センターで周術期、外傷、プレホス、災害と院内外で救急・集中治療に従事し、成人、小児双方の診療経験を活かして医療者間でリエゾンとしての役割を意識して診療に取り組んできました。これからはずっと働きたかった小児医療センターのPICUで病院と地域のためにチームの一員として微力ですが尽力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



小児外科 部長

高見 尚平

外科の高見尚平と申します。私は平成21年に群馬大学を卒業し初期研修まで群馬県で過ごしていました。その後東大病院、埼玉県立小児医療センターなどでトレーニングを行い、この度15年ぶりに群馬県に戻ってきました。学生・研修医時代にお世話になった先生もたくさんいらっしゃいます。育てていただいた群馬県に少しでも恩が返せるよう精進いたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。



内分泌代謝科 部長

大澤 好充

4月から内分泌代謝科で勤務をしております、大澤好充と申します。昨年度までは非常勤として主に外来診療でお世話になっておりました。新生児マススクリーニング対象疾患をはじめとした先天代謝異常症や小児内分泌疾患の診療を通して、群馬県の医療に貢献できるように精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



産科

間宮 遼

4月より産科で勤務させていただいております間宮と申します。群馬大学産婦人科に入局し、去年度は公立藤岡総合病院で勤務しておりました。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一つ一つ学びながら、少しでも群馬県の周産期医療に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



小児外科

住田 桃子

4月より外科に赴任いたしました住田桃子と申します。神奈川県出身で、広島大学を卒業後、5年間広島県で勤務しておりました。昨年度より東京大学小児外科に入職し、この春初めて群馬へ参りました。当院での診療を心待ちしておりました。患者さんとご家族に寄り添いながら、より良い医療を提供できるよう日々取り組んでまいります。至らぬ点もあるかと存じますが、日々の診療に真摯に向き合っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



小児外科

永嶋 一貴

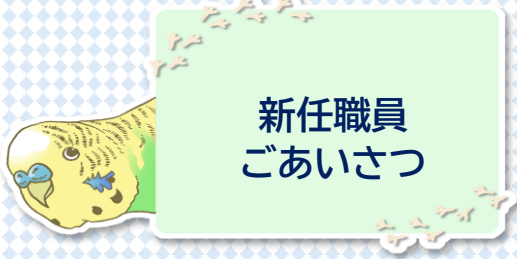
今年度より、外科で勤務させていただいております 永嶋一貴と申します。当院の一員として、小児医療に貢献できる機会をいただき、身の引き締まる思いです。一つひとつの処置、手術を丁寧に、患者様に安心していただける外科診療を心がけて参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



小児外科

大串 健二郎

平成23年卒、群馬大学出身の大串健二郎と申します。久しぶりに群馬県立小児医療センターに戻って参りました。これまでの経験を活かしつつ、貪欲に仕事に取り組んで成長したいと思っています。よろしくお願い申し上げます。



## 新任職員 ごあいさつ



感染症科

荻野 明日香

本年度より感染症科で勤務させていただいております、荻野明日香と申します。自治医科大学を卒業後、群馬県内で初期臨床研修を行い、その後は昨年度まで佐賀県で勤務しておりました。お子さんとご家族の健やかな生活を支えられるよう、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



歯科・障害児歯科

秋山 なつき

4月より歯科で勤務させていただくことになりました。出身は長野で東北大学を卒業後に東北大学病院で研修を行いました。その後、訪れたことのない土地への興味から弘前大学の口腔外科に勤務。僻地勤務の経験から障がい者歯科医療の不足と必要性を強く感じ、母校の東北大学病院で障がい者歯科および歯科麻酔の研修を行って参りました。今後は、より多くの研鑽を積むとともに、より良い医療の提供に貢献できるよう精一杯努めて参ります。



形成外科

都丸 奈々

4月から形成外科に赴任しました。都丸奈々と申します。前橋女子高校から山形大学を経て地元の群馬に戻り、形成外科医として医療に携わることになりました。至らぬ点も多々あると思いますが、この小児医療センターで専門的な医療を勉強させていただけることに感謝しながら、精進していきます。よろしくお願いいたします。



循環器科

東野 允奎

4月より循環器科で勤務させていただいております東野允奎と申します。高崎市出身で群馬大学を卒業しました。先天性心疾患をはじめ、循環器疾患を持つ子どもたちやご家族に安心していただける医療を提供できるよう努めて参ります。まだ至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



ゼネラルリスクマネージャー

小林 志のぶ

今年度よりゼネラルリスクマネージャーを拝命いたしました小林です。医療安全は、職員一人ひとりの日々の気づきや声かけ、確認行動の積み重ねによって支えられています。現場の皆さまが安心して業務に取り組める環境づくりを大切にしながら、多職種で連携し、安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。皆さまのご協力をいただきながら精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



経営課課長

相川 志津江

本年4月から経営課長としてお世話になっております相川です。病院の経営課配属は、コロナ禍の心臓血管センターのあと2か所目となります。不慣れではございますが、経営改善のため邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



事務局新病院建設課長

佐藤 迅

本年4月から新病院建設課長としてお世話になっております。新病院の基本設計については、既に佳境に差し掛かっているところで、今年度は、建物の建設に向けての具体的な調整や、群馬大学附属病院との連携の推進など、いくつかの課題に取り組んでまいります。皆様の御協力を願うことがあるかと思っておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。



医事課長

土井 清隆

本年4月の異動により医事課長を拝命いたしました。平成26・27年度に総務課で外来棟増改築に携わっており、戻ってきて完成した歯科を見て懐かしく感じました。また、院内もよく周っていたので、いろいろ思い出しています。今度は医事課長として、いちから勉強して、皆様のお役に立てるよう努めますので、よろしくお願いいたします。

# 「勇気の証」を繋ぎ、自立への道を歩む —当院のビーズ・オブ・カレッジ—

循環器科 部長 中島公子

## ■ 勇気を可視化する「ビーズ・オブ・カレッジ」

「ビーズ・オブ・カレッジ(勇気のビーズ)」は、2005年に米国の看護師によって開発された、病気と闘う子ども達のための心理的支援プログラムです。日本では認定 NPO 法人「シャイン・オン!キッズ」を通じて、全国32の医療施設で主に小児がんのお子さんを対象に導入されています。

このプログラムでは、採血や注射を頑張ったときは「赤」、化学療法を受けたときは「白」、カテーテル検査を受けた時は「オレンジ」、手術を乗り越えたときは「星型」など、処置の内容に応じた色のガラスビーズを子ども達が自ら受け取ります。子どもたちは、手元に増えていくビーズを紐に通し、長く繋いでいきます。長く繋いでいく行程は、自分がどれほどの困難を乗り越えてきたかを示す、目に見える「勇気の記録」となります。

## ■ 心の回復力(レジリエンス)を育むために

本プログラムの本質は、ビーズを単なる「ご褒美」として与えることではありません。過酷な治療に受動的になりがちな子ども達が、自らの経験を「勇気の旅」として主体的に捉え直し、自己受容や自尊心を回復するためのアート介入療法です。ビーズという形あるものを介在させることで、子ども達は自分の病気や治療について語りやすくなり、ストレスの軽減や回復力(レジリエンス)の向上に繋がることが期待されています。



## ■ 当院の特徴:全国初、心疾患自立支援プログラム

一般的に小児がん領域で普及してきた本プログラムですが、当院は2025年度より全国に先駆けて「心疾患自立支援プログラム」として本格導入いたしました。特徴は心理的ケアに留まらず、成人期への橋渡しである「移行期医療」における自立支援としての役割を担っている点です。特に先天性心疾患患者さんは、幼少期に受けた手術や治療の内容を詳しく知らないまま成長されることが少なくありません。ビーズを繋ぎながら自分の治療歴を振り返ることは、自らの病気を正しく理解し、主体的に向き合うきっかけとなります。患者さんからは「自分の治療を一目で振り返ることができてよかった」「友達にも自信を持って自分の病気について説明できるようになった」という声が届いています。自らの歩みを「言葉」にできるようになることは、自立への大きな一歩です。



## ■ 医療者・家族との架け橋として

このプログラムは、私たち医療者にとっても大切な意味を持ちます。ビーズを介することで、処置への恐怖を和らげるコミュニケーションが生まれ、子ども達の努力をより深く理解し、讃えることができます。

また、ご家族にとっても言葉にできないお子さんの苦労を共有し、共に歩むための一助となります。2026年度からは、新たに対象を小児がんの患者さんへも拡大し、より多くの子ども達の歩みを支えていく体制を整えてまいります。皆さまの温かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。



群馬県立小児医療センター 外来診療予定表

(令和8年6月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	備考	
内科	総合診療科	午前	江田 陽一 野村 滋	鈴木 江里子 大澤 好充 (外来点滴治療)	原 勇介 鈴木 江里子	村山 悦子 鈴木 江里子 (外来点滴治療)	鈴木 江里子 清水 彰彦	
		午後	三村 卓矢 川島 淳	桑原 幸佑 椎原 隆	鈴木 多映子 道和 百合	長沼 純子 渡辺 美緒	清水 有紀 森田 孝次	
	神経内科	午前	椎原 隆(第1・3・5週) 鈴木 江里子(第2・4週)	道和 百合 清水 有紀(第1・3・4週)	渡辺 美緒	清水 有紀	椎原 隆	
		午後	渡辺 美緒	道和 百合		椎原 隆(第1週) 森田 孝次(第2・3・4・5週)		
	循環器科	午前	池田 健太郎 中島 公子		池田 健太郎 浅見 雄司		中島 公子(第1・2・3・5週) 福田 雅弘(第2・4週) 佐々木 祐登(第1・3・5週)	
		午後	池田 健太郎 (13:00~15:00) 浅見 雄司 (13:00~15:30)	下山 伸哉	下山 伸哉 (13:00~14:30) 池田 健太郎 (13:30~15:00)		中島 公子 (第1・2・3・5週 13:00~15:30) 移行期支援外来 (第4週 13:00~16:00)	
	血液腫瘍科	午後	桑原 幸佑	鈴木 多映子	外松 学(13:30~) 河崎 裕英(14:00~) 川島 淳	村山 悦子 (14:00~)		
	腎臓内科	午後		小林 靖子 丸山 健一(第1・3・5週) (13:30~16:00) 池内 由果(第2・4週)		池内 由果 (第1・3・5週)		
	アレルギー・リウマチ科	午前			滝沢 琢己(第1・3・5週) (13:30~14:00:再診 14:00~14:30:初診) 清水 真理子(第2・4週) (13:00~13:30:初診)	野村 滋 アレルギー外来 (13:00~14:00:初診)	山田 佳之(第2・4週)	
		午後	清水 真理子 (13:00~13:30:初診)				清水 真理子(第1・3・5週) 山田 佳之(第2・4週)	
感染症科	午前		荻野 明日香		清水 彰彦			
	午後		清水 彰彦					
外科	一般外科	午前		術前検査・術後外来・入院前診察 山口 岳史		術前検査・術後外来・入院前診察 新規患者枠(第1・3・5週) 西 明(第2・4週) (9:30~)		
		午後		高見 尚平 新規患者枠		西 明		
	心臓血管外科	午前			岡村 達 山本 裕介 畑岡 努 (何れも10:00~)		岡村 達 山本 裕介 畑岡 努 (何れも10:00~)	
		午後			岡村 達 山本 裕介 畑岡 努		岡村 達 山本 裕介 畑岡 努	
	形成外科	午前	浜島 昭人 (9:30~11:00:初診) 佐々木 淑恵 (9:30~11:00:初診)			佐々木 淑恵 (9:30~10:30:初診)		
		午後	浜島 昭人 佐々木 淑恵 都丸 奈々 (13:00~16:00)			浜島 昭人 佐々木 淑恵 都丸 奈々 (13:30~16:00)		
	整形外科	午前	浅井 伸治 富沢 仙一		浅井 伸治 富沢 仙一		浅井 伸治	
		午後	(午前:再診、午後:初診)		(午前:再診、午後:初診)			
	脳神経外科	午後					板橋 悠太郎(第4週) (14:00~16:00)	※2
	総合周産期母子医療センター	新生児科	午前		井上 文孝(第2週) (新生児・退院支援)			
午後			丸山 憲一 鎌木 浩太		小泉 亜矢 宮川 陽一	丸山 憲一 小柳 晴久	清水 祐基 松野 早紀(第1・3週)	
産科		午前	産科医師(再診)	産科医師(初診+再診)	産科医師(再診)	産科医師(再診)	産科医師(再診)	
		午後	産科医師(初診) (14:00~16:00)	産科医師(初診) (14:00~15:00) NIPT外来	産科医師(初診) (14:00~16:00)	産科医師(初診) (14:00~16:00) NIPT外来	産科医師(初診) (14:00~16:00)	
胎児心臓外来		午前				循環器科医師		
胎児超音波 スクリーニング外来		午前	産科医師	産科医師	産科医師	産科医師	産科医師	
母乳外来		午前 午後				助産師		
特殊専門外来		麻酔科	午前		麻酔科医師		麻酔科医師	麻酔科医師
			午後	麻酔科医師(術後)	麻酔科医師(術後)		麻酔科医師(術後)	麻酔科医師(術後)
		放射線科	午前	桑島 成子		桑島 成子	桑島 成子	桑島 成子
	午後							
	遺伝科	午前	山口 有	山口 有(予約:医師のみ)	山口 有(予約:医師のみ)	山口 有(予約:医師のみ)	山口 有	
		午後						
	歯科・障害児歯科	午前	木下 樹 大隅 麻貴子 佐藤 璃奈 細田 なつみ	木下 樹 大隅 麻貴子 佐藤 璃奈 細田 なつみ	木下 樹 大隅 麻貴子 佐藤 璃奈 細田 なつみ	木下 樹 大隅 麻貴子 佐藤 璃奈 細田 なつみ	大隅 麻貴子 佐藤 璃奈 細田 なつみ	
		午後 (14:00~)			大隅 麻貴子 佐藤 璃奈 細田 なつみ		木下 樹 大隅 麻貴子 佐藤 璃奈 細田 なつみ	
	耳鼻咽喉科	午前			耳鼻科担当医 (第1・3・5週 難聴外来) (第2・4週 病棟診察)			
		午後	耳鼻科担当医 (何れも15:00~)					※2
眼科	午前			得居 俊介 (偶数月 第1・3週)		眼科医師 (奇数月 第1・3週)	※2	
	午後							
子どものこころ診療科	午前		森田 孝次		森田 孝次			
	午後		森田 孝次 (13:30~14:00:初診)					
内分泌代謝科	午後			長沼 純子	大澤 好充			
リハビリテーション	午前	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 浅井 伸治 (リハ外来 13:00~14:00)		
午後								
心理検査	午前							
心理カウンセリング	午後	臨床心理士(公認心理師)	臨床心理士(公認心理師)	臨床心理士(公認心理師)	臨床心理士(公認心理師)	臨床心理士(公認心理師)	※3	
予防接種	午後					(第1・3週:13:00~15:00)		

※1:外来診療の開始時間は、注記のあるものを除き、午前は9:00、午後は13:00から

※2:耳鼻咽喉科、脳神経外科、眼科につきましては、都合により当分の間、新規紹介の受付ができませんのでご了承願います。

※3:心理カウンセリングは都合により新規受付を停止しております。